

小中一貫校の現場に問題は山積 5年生から7年生の中期は「中だるみ」

山本由美・他『学校は子どもと地域のたからもの』 学校統廃合と小中一貫校にかわるプランを』が自治体研究社から10日、出版されました。

小中一貫校・義務教育学校の現場から、問題がたくさん報告されています。
一部紹介します。

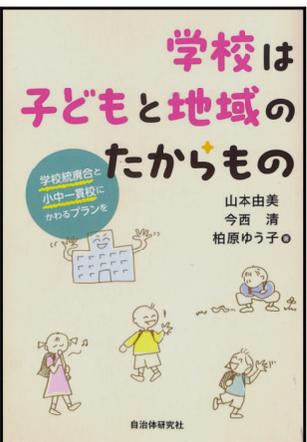
☆☆☆

「今日から中学生」「電車料金も大人と同じ」「その制服を着ると言うことは～」などなど、中学1年生を迎える先生たちは、小学生との違いを強調し、中学生としての自覚を促します。

しかし、小中一貫校ではこれらの言葉が生徒の心に響きません。「なんで今までと一緒やったらあかんの」と聞き返されて困った、と7年生の担任。

小中一貫校では、「中1ギャップ」をなくすために、小学校のうちから中学校文化を取り入れ、馴染らしてきたので当然の帰結です。

一般の学校では小学生は、「中学校に行ったらこんなことをしよう」「こんな自分になろう」



柏はらから2025
清西のたからもの
著 今西清
美・著 山本由美
由子と地域の自治体
本ゆどの自治体研究社
山原も5.03.10

と考えながら中学校の入学式を迎えます。しかしその機会がないのです。小6から中1へ。この大きな飛躍の機会を逃してしまいうわけです。

☆☆☆

さらに困った事は、5年生から7年生の「中期」と呼ばれる時期に「中だるみ」がおこることです。

一般校では「最高学年」「学校の代表」である誇り高き6年生ですが、小中一貫校では、そうはいきません。

そして、彼らには中学校は「テストばかり」「先生こわい」「部活キツイ」という印象が強い。「7年になったらちゃんとするから」「今は遊ばせて」と言い出す始末です。

中学生たち自身は、テストと校則と受験に挟まれながらも青春を謳歌しているのですが、小学生には表面的なことしか見えないのでし

☆☆☆

「小中一貫校では、中学校へのあこがれが育つ」というのは、全くの幻想でした。

もう一つ、「小中一貫校では、小さな子どもへの思いやりが育つ」とよく言われます。

しかし中学生たちは、「いつもいつもお手本を求められてしんどい」「優しくできるときばかりとは限らない」と言っていました。

思春期真っ盛りの中学生です。

ときには羽目を外すこともあるし、やんちゃなことも危ないこともしばしば。

しかし小中一貫校では常に小学生の目があるので、中学生たちは遠慮してしまうのです。

小学生が下校してから職員室にやってきて、先生たちに甘える中学生の姿もありました。「小学生ばかり優先されてる」との声もよく

ふるさと賛歌

鈴木重雄(八色木)

幼い頃の遊び唄 7 による、大正・昭和初期の幼い頃の遊び唄⑦
八色木の日向富さん

一、よく談判破裂して
二、日清戦争始まった(露
三、さっさとにげるは支那の兵(ロシア)
四、進んで行くのは日本兵
五、五万の兵と引きつれて
六、五人残して皆殺し
七、白旗立てて降参す(七月四日の戦いに)
八、ハルビンまでも攻め入って

九、クロバトキンの首を取り
十、東郷大将 一万才

群れ遊び

。(輪になって)

かごめかごめ かごの中の鳥は
いついつねむる
夜明けの晩に 鶴と亀とすべった
見えた見えた

どなたが見えた
〇〇さんが見えた
後の正面 だーれ

と説明され、建設された小中一貫校ですが、その後どうなったのか、正面から検証することなく、次々と計画が持ちあがる状況に心を痛めています。(91〜92頁)

☆☆☆

藤島に小中一貫校設置は、開校が7年後の令和14年で、老朽化が甚だしい藤島中学校や、藤島児童館の改築が先延ばしです。

☆☆☆

不登校、いじめ、学力問題といったあらゆる教育課題が解決する
問題が大きくならないうちに、撤回すべきではありませんか？

東田川史跡物語

山添八幡神社 絵馬詞書

青山 崇



島野嘉作先生六福岡
県筑紫郡大野村山田ノ
人天資温厚大野村山田
ノ人天資温着實にして
一般農事に精通して特
ニ乾田馬耕に於て妙技
得其蘊奥を究む

東田川郡に稲作改良
教師として先生を招聘
するや郡内を三區に別

ち區毎に実習田を設置
せらる

明治三十一年三月其
一を山添村大字下山添
を指定せられ上野安治
氏に諮るところあつく
たりしが氏は地方の爲
重大な事業たるを悟り
快諾して自家作田の中
字宮の越地内四反七畝
歩を以て之に充てられ
たり

先生来る毎に昼は實
習田に當業者の子弟技
教授し夜は上野氏宅に
宿とるを例とせり弟子
たるを免許せられ昼ハ
実地授を受け夕日宿に
持し或ハ食膳に陪して
口説を聴き先生と親し
み乾田馬耕及蟹爪打の
伝習を受ける事八年

其情愛は切なる父子
も當ならざるものあり
明治三十六年十月先生
任満ちて故郷に帰らる
生等其鴻恩に浴し其高
徳を永世に傳へむ為茲
に之採録して斯其萬分
乃一を報せんとする者
也

あなたの声を届けます

芝生広場に水飲み用の蛇口の設置を
藤島体育館北側の芝生広場は、子ど
も達のサッカーや高齢者のグラウンド
ゴルフ、また子ども連れの親子も遊ん
でいます。

暑い夏、水を飲みたい時や汗をふき
たい時、トイレまで行かなければなり
ません。

芝生広場の入口の左側に水止栓があ
りますので、その側に簡単なものでよ
いので、蛇口を立ち上げ、水を飲める
ようにしてほしいとお願いします。

八色木 住民

動けば変わる 意見・要求を 政治へ

政権与党が過半数割れとなつて、国民
の要求が通る可能性が開かれました。
市政も同様に、声をあげれば変わります。
す。体育館のトイレが壊れたままなど、
意見・要求をお寄せください。

あなたの声を届けます

氏名
連絡先
切り抜いて、共産党市議団や
民報配布者にお渡しください

明治四十三年九月十
五日

門人

上山添 菅原栄吉

下山添 上野安蔵

下山添 上野佐藤左工門

下山添 佐藤徳治

下山添 佐藤吉蔵

丸岡 佐藤利作

上山添 菅原権吉

下山添 佐藤壽作

下山添 佐藤朝治

注記一 万葉仮名・草書

体混合す

▼天資（てんし、生ま

れつきの資質）

▼蘊奥（おんおう、肝

心なこと）

▼招聘（しょうへい、
礼を尽くして招くこと）

▼あつく（厚い）

▼陪して（ばいして、
側について）

▼口説（くぜつ、分り
易く説明する）

▼蟹爪（雁爪、がんず
め）

▼切なる（せつ、ねん
ごろな）

▼當（仕事や任務など
にあたる）

▼鴻恩（こうおん、大
恩）

▼採録（さいろく、選
んで記録する）

▼斯（こうして）



きびちよ

3党合意には毒が

少数与党政権初めての
の当初予算国会。期限
内成立を危ぶんでいた
自公政権。これに助け
舟を競い合っていたの
が国民と維新。うまく
維新を取り込んだ石破
首相。その日テレビは、
衆院通過の見込みが立
ち、喜色満面で廊下を
行く首相を映していた。
これで期限を心配する
ことなく参院に込ぜら
れるというわけ。

▲維新が取り付けた合
意。高校授業料無償化
の方向は、共産党も目
指す事だから良かった
のですが、合意には大
変な毒も一緒だったと
言うんだ。それは、3
日の衆院予算委員会
共産党の辰巳議員が取
り上げていたが、国民
の医療費を年間4兆円
削減するというものだ。
▲防衛費と称する軍事
費が8兆円を超える予
算案だが、こつちを減

らさないで社会保障費
を減らそうというもの
で、ここでも自公の願
う方向の後押しだ。も
う既に、国民皆が恩恵
を受けている高額療養
費（今の俺は8万円程
か）の上限を引き上げ
で5330億円を削減
する事が大きな問題に
なっている時にだ。

▲がん患者団体などが
らは、医者に掛らない
で死ぬか？の声もあり、
国民の大きな声が、さ
しも強硬だった首相の
予定を変更させたが。

▲今でさえ医者に診て
もらって薬をもらわね
ばならないのに、薬局
に寄らないで帰る人が
多くなっていると、医
療生協で働く人は言っ
ているんだ。薬価の見
直しは何時やった？

▲4兆円の削減とは、
医療制度がどんなもの
になるのか。去年は訪
問介護が犠牲になって
107も事業所が無く
なった。まさに医療崩
壊の心配も。（石川）